

アワビ種苗の放流効果向上を目指して

アワビ種苗放流マニュアルの作成

アワビ種苗放流マニュアル

(H24年度改訂版)

平成25年1月
三重県水産研究所

- アワビ種苗の**再捕率は、1～10%以上**と変動が大きいです。
- 海女漁業振興のために**放流効果の安定・向上**が課題です。
- 三重県水産研究所では、『**アワビ種苗放流マニュアル〈H24年度改訂版〉**』を作成しました。
- マニュアルには、アワビ種苗の**放流方法**や注意点、アワビ類の生態や漁獲の動向などを記載しました。
- アワビ種苗の放流効果を高める情報が満載です！！
放流事業にお役立てください。

マニュアルを公開している三重県水産研究所のホームページ
<http://www.mpstpc.pref.mie.lg.jp/SUI/inform/research.htm>

【内容の紹介(一部)】

●直径30cm以上の転石域に放流しましょう！

稚貝は成長にあわせて、より大きな石に生息するようになります。

放流から約2ヶ月後
転石の下に集まる種苗



●害敵による放流直後の捕食に要注意！

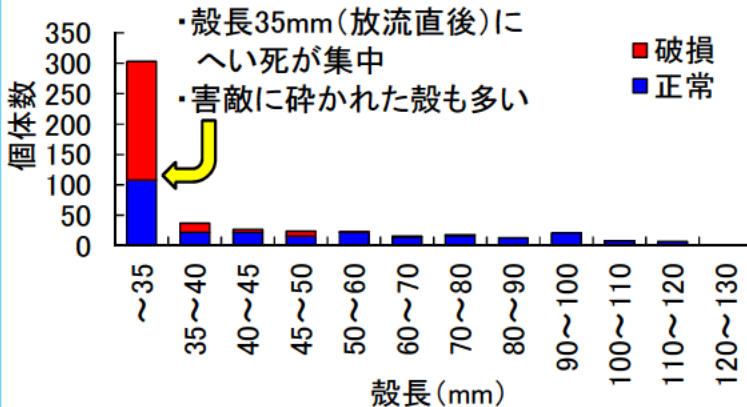


図. 放流漁場から回収されたへい死したアワビ種苗の殻長・状態別(正常・破損)の個体数

●放流前後にはアワビ種苗の害敵を減らす(漁獲する)ことが重要です！

～主な害敵～



害敵を減らし、生き残りを高めることが重要です。



三重県水産研究所 水産資源育成研究課

Mie Prefecture Fisheries Research Institute

〒517-0404 志摩市浜島町浜島3564-3

TEL (0599)53-0016

FAX(0599)53-2225